

かけがえのない命のために、  
たくさんの笑顔と出会うために

美しい自然と人の暮らしが響き合う。  
まるでシンフォニーのように。  
キッセイ薬品はこの信州で、  
新薬の研究開発に取り組んでいます。



**KISSEI**  
キッセイ薬品工業株式会社

<https://www.kissei.co.jp>

新しい  
生きろ、創ろ。  
A new way of life

独自技術で難病に挑み、ひとりの「生きる」に希望をとどける。  
ユニークな機能性食品で、みんなの「生きる」を健やかにする。  
京都から世界へ。  
新しい時代の、新しい生きるを、  
わたしたちは、創っていく。



**日本新薬**  
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

イノベーション創出  
わが国の成長けん引  
世界有数の「創薬力」

# 健康と未来を守る 製薬産業

ごあいさつ 日本製薬団体連合会 会長 岡田 安史 (エーザイ代表執行役)



**高品質の医薬品 — 安定的に供給**

国民の命と健康を守り、経済成長や安全保障といった国家の存続と発展の礎となるのは、とりもなおさず科学技術力であり、ライフサイエンスはその中真ん中に位置する最重要分野です。且、新しい技術革新に加え、高齢化の進展や健康意識の高まりも相まって、医薬品産業は国民の健康寿命の延伸や健康国家の経済成長を牽引する基幹産業としての期待が寄せられています。日本は世界有数の新薬創出で、

国民の命と健康を守り、経済成長や安全保障といった国家の存続と発展の礎となるのは、とりもなおさず科学技術力であり、ライフサイエンスはその中真ん中に位置する最重要分野です。且、新しい技術革新に加え、高齢化の進展や健康意識の高まりも相まって、医薬品産業は国民の健康寿命の延伸や健康国家の経済成長を牽引する基幹産業としての期待が寄せられています。日本は世界有数の新薬創出で、



**スタートアップ集中支援 厚労省が新機軸**

政府全体の動きとは別に、厚生労働省でもヘルスケア産業をめぐる新機軸が打ち出された。塩崎彰久大臣政務官をトップとするプロジェクトチーム（PT）は、ヘルスケアの産業特性に着目した政策パッケージを示した。難易度の高い創薬や医療機器開発を後押しする新たな補助金の枠組み、助金の枠組み構築や、規制や診療報酬改定など企業からの要望に対応し、施策に反映する一元的な窓口設置など、政府が創薬力の向上に取り組み方針が示された（霞が関の巨匠街）

「国立感染症研究所」と「国立国際医療研究センター」を統合する形で発足するもので、米疾病対策センター（CDC）にたとえて「日本版CDC」とも称される。

感染症に関する情報を集約し、感染状況の早期把握につなげるほか、ワクチンや治療薬の研究開発も後押しする。

スタートアップ支援策を取りまとめた厚労省のPTである塩崎彰久大臣政務官（写真右）は、7月27日、

**世界見据え施策強化 海外人材・投資を誘致**

政府構想会議 海外人材・投資を誘致

製薬企業幹部や研究者をメンバーとする政府の「日本が経済成長を遂げる構想会議」が5月下旬に取りまとめた新たな戦略方針。新薬の研究から実用化まで支援する体制構築に向け、治験施設の整備や業事規制の見直しを進めることや、海外の人材や投資を積極的に呼び込むことを柱に据えた。

戦略のベースとなる構想会議の中間とりまとめでは、「日本は世界的に用いられる新薬をいくつも生み出したが、創薬力を持つ数少ない国のひとつで、これは世界に誇るべきもの」とした上で、こうした力を今後も維持

**「日本版CDC」発足へ**

感染症対応をめぐっても新たな動きがみられる。司令塔となる新機構が2025年4月に発足することが正式に決まり、組織体制の整備をはじめ準備が加速する。

新機構「国立健康危機管理研究機構（略称「J-IHS」）」は、「国立感染症研究所」と「国立国際医療研究センター」を統合する形で発足するもので、米疾病対策センター（CDC）にたとえて「日本版CDC」とも称される。

感染症に関する情報を集約し、感染状況の早期把握につなげるほか、ワクチンや治療薬の研究開発も後押しする。

スタートアップ支援策を取りまとめた厚労省のPTである塩崎彰久大臣政務官（写真右）は、7月27日、

調達も後押しする。希少疾患に対する研究開発も官民で推進する方針も示した。

内閣官房の担当者は「連年の戦略について「製薬産業への支援にとどまらず、日本の産業競争力強化に向けて政策を進展させる意味合いがある」と意義を語る。

調達も後押しする。希少疾患に対する研究開発も官民で推進する方針も示した。

調達も後押しする。希少疾患に対する研究開発も官民で推進する方針も示した。

内閣官房の担当者は「連年の戦略について「製薬産業への支援にとどまらず、日本の産業競争力強化に向けて政策を進展させる意味合いがある」と意義を語る。

調達も後押しする。希少疾患に対する研究開発も官民で推進する方針も示した。

調達も後押しする。希少疾患に対する研究開発も官民で推進する方針も示した。

内閣官房の担当者は「連年の戦略について「製薬産業への支援にとどまらず、日本の産業競争力強化に向けて政策を進展させる意味合いがある」と意義を語る。

調達も後押しする。希少疾患に対する研究開発も官民で推進する方針も示した。

新薬の扉を、  
AIと開く。

人間とは異なる発想で  
抗体配列パターンを導き出す  
「AI創薬」によって、  
前例のない薬の開発に  
取り組んでいます。

創造で、想像を超える。

**中外製薬**  
CHUGAI  
ロシュグループ



サイエンス。それは、希望。

薬だけでなく、その先の人を見つめる。「あの人に届けるために」。

その思いが、社員ひとりひとりの胸にある。

たとえば、さまざまながん治療に応用できるADC技術。

がん細胞を狙って攻撃し、「自分らしく生きる」治療を目指す。

サイエンスの力で、がん治療に、新しいあたりまえを。

わたしたちの1日は、誰かのかけがえのない日々につながっている。

イノベーションに情熱を。  
ひとに思いやりを。

**Daiichi-Sankyo**





**meiji**

守るとは、挑むこと。

大切なものは、何ですか。  
見つめる。支える。寄り添う。誓う。  
大切なものために、  
できることすべてを。

私たちMeiji Seika ファルマは、  
ワクチンによる予防から  
抗菌薬による治療まで  
幅広いラインアップで、  
世界の感染症に挑み続けます。  
これからも、ずっと。



Meiji Seika ファルマ株式会社

医療・健康ニーズに応えて、  
人々の健康・福祉にいつそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきつとある。  
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。

**持田製薬株式会社**  
MOCHIDA <https://www.mochida.co.jp/>

届けたいのは、  
夢、希望、  
いつもの日々。

もしものときも、  
変わらない日常がつづくように。  
新薬で、すこやかな未来を届けたい。

**Only Ono**  
小野にしかできない挑戦がある。

**ONO 小野薬品工業株式会社**



# 製薬産業 社会的使命で貢献 新薬最前線

## 希少疾患

### 患者・現場の負担軽減

希少疾患への負担、さらに医療現場のアンメットメデイカルニーズへの対応は製薬企業の社会的使命だ。中外製薬は、強みの抗体技術を活用した新薬開発に取り組む。同社は5月、発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)の新規治療薬「ピアスカイ」を発売した。4週に1回の皮下投与で治療が可能となる。患者や介助者の治療



中外製薬「ピアスカイ」

## アルツハイマー病

### 世界で実用化進む

高齢化社会の進行に伴い、医療のニーズも高まる。認知症やがんといった加齢と関連が深い疾患は今後も治療のニーズが高まることが予測され、製薬企業は新薬開発を加速化している。また、希少疾患もアンメットメデイカルニーズ(未充足の医療ニーズ)が高い領域だ。製薬企業は新薬の開発と世界での実用化を進め、より多くの患者への貢献を目指す。

エーザイと米バイオ医薬品大手バイオオンが、D型認知症患者を対象とした治療薬を開発している。現在使われていたアルツハイマー病(AD)治療薬「レケナ」は、脳内に蓄積して病気の原因になると考えられているたんぱく質「アミロイドベータ」(β)を除去し、症状の進行を抑制する効果が期待される。レケナによる治療は、これまでの臨床試験の結果から疾患の進行を平均約3年遅らせることが認められる。認知症のうちADは6割を超えるとされる。日本の介護関連費用のうち約半分がADに関連するとされる。さらに家族による無償介護や労働機会に与える影響などを合わせると、経済損失は年間10兆円以上ともいわれる。レケナによる承認取得や、高齢化に伴う介護の課題の改善への解決に貢献することも期待されている。エーザイの内藤晴夫最高経営責任者(CEO)は、「レケナは医学的価値に加え、介護負担軽減という価値もある」と自信を見せ、信を見せ



エーザイ「レカナマブ」

## がん領域

### 患者の治療選択肢増やす

がん領域では、新薬開発が進むものの、アンメットメデイカルニーズが高い。製薬企業は新薬開発で、患者の治療選択肢を増やす取り組みを続けている。Meiji Seikaファルマ(東京)は5月、造血幹細胞移植後の慢性移植片対宿主病(GVHD)の治療薬「レスロック」を発売した。GVHDとは、白血病などの血液がんの治療で行われる造血幹細胞移植後に起きる合併症。ドナーの免疫細胞が移植を受けた患者の体を攻撃することで起きる。急性GVHDでは皮膚や消化器に強い炎症を引き起こす。一方、慢性GVHDでは皮膚や眼、消化器への炎症症状のほか、組織が線維化する。移植後3カ月以降に発症し、全身に対してBBMを用いる方針だ。早期AD患者数は23年には世界で約400万人に上るとされる。エーザイは、そのうちレカナマブなどの認知症治療薬の投与対象となる患者は約300万人と想定している。

特に高齢化が進むに先導国として、レカナマブは早期ADの治療を大きく変え、介護負担の軽減を実現する可能性を持った革新的な医薬品だ。医療や介護の問題解決に大きく貢献する医薬品として、実用化がさらに進みそうだ。

承認取得となった場合、必要となるのが、検査と診断の体制だ。実用化が先行する米国では、専門医や病院ネットワークへの働きかけや治療に関するトレーニングを実施するなど、承認取得を想定した準備を進めてきた。日本でも検査から診断、治療までの医療体制

承認取得となった場合、検査と診断の体制だ。実用化が先行する米国では、専門医や病院ネットワークへの働きかけや治療に関するトレーニングを実施するなど、承認取得を想定した準備を進めてきた。日本でも検査から診断、治療までの医療体制

れな疾患で経過観察の人を含めると、10万人に1人ほど。血栓症など命に関わる合併症も起きる」と説明する。

また中外製薬ではこうした革新的な新薬の実用化と合わせて、国内の情報ツール「副作用DBツール」を刷新するなど医療者への情報発信も強化した。医薬品の情報は医師が治療方針を決める上で重要な。医薬品の使用も適度に届け、情報も適切に届けることで、より多くの患者への貢献につながりそうだ。

Meiji Seikaファルマ「レスロック」

レスロックは、免疫細胞の分化と組織の線維化に関わる酵素「ROCK2」を選択的に阻害する。ROCK2をターゲットとした医薬品は世界初となる。小林大吾郎社長は、レスロックの実用化について「難易度が高い領域だったが患者への治療インパクトが大きな医薬品として期待している。治療に貢献できる主眼を感している」と強調する。患者の治療選択肢を増やし、がん領域での治療への貢献を目指す。



裏にはたくさん苦しんで出ることが特徴だ。患者は多くの薬を服用しながら、長期的な治療を要するなど、アンメットメデイカルニーズが高い。ステロイドによる治療が行われているが、効果が不十分な患者も多かった。ROCK2をターゲットとした医薬品は世界初となる。小林大吾郎社長は、レスロックの実用化について「難易度が高い領域だったが患者への治療インパクトが大きな医薬品として期待している。治療に貢献できる主眼を感している」と強調する。患者の治療選択肢を増やし、がん領域での治療への貢献を目指す。

早期AD患者数は23年には世界で約400万人に上るとされる。エーザイは、そのうちレカナマブなどの認知症治療薬の投与対象となる患者は約300万人と想定している。

特に高齢化が進むに先導国として、レカナマブは早期ADの治療を大きく変え、介護負担の軽減を実現する可能性を持った革新的な医薬品だ。医療や介護の問題解決に大きく貢献する医薬品として、実用化がさらに進みそうだ。

選択肢をつくる。  
希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、  
まだ選択肢が足りない世界があります。  
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、  
たくさんの希望につながります。  
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた  
薬づくりの力を生かして、  
さまざまな分野で、挑みつけていきます。  
そこに待っている人がいるかぎり。



**田辺三菱製薬**  
<https://www.mt-pharma.co.jp/>

MITSUBISHI CHEMICAL GROUP

患者様の想いを見つめて、  
薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。  
病氣とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。  
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、  
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合いたいと思います。  
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために、  
病氣を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。  
「ヒューマン・ヘルスケア」、それが、私たちの原点です。

**ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ**



Etsai  
human health care

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



**あしたの感染症と、たたかっている。**

感染症がこの世からなくなることはない。パンデミックも、きっとまた起こる。だからこそ、SHIONOGIは逃げずに向き合い続けます。その時私たちの創るワクチンが、治療薬が、強く、強く、ひとつでも多くのいのちを守れるように。薬ができることの、その先へ。



**抗体医薬品の開発・製造の省力化・迅速化を推進する！**  
**エス・ティ・ジャパンの先端分析装置**

**培地中成分分析計 REBEL**

細胞培養培地中の全アミノ酸の一斉分析が10分で可能しかも特別な試料前処理は不要です

**抗体濃度測定専用LC HALCON**

特別な試料前処理を必要としない、IgG測定専用のクロマトグラフです測定時間は10分です

**生体分子間相互作用解析装置 Mnlolith-X**

独自技術で試料の固定化不要でKd値の測定が可能極微量な試料で分子サイズ、バッファの種類に関係なく解析が可能

お問い合わせは... 株式会社エス・ティ・ジャパン ライフサイエンスGr. 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町1-14-10 TEL: 03-3666-2561 FAX: 03-3666-2658 www.stjapan.co.jp

**次の100年への願い。**  
 貢献します。これからも。

健康は キョーリンの願いです

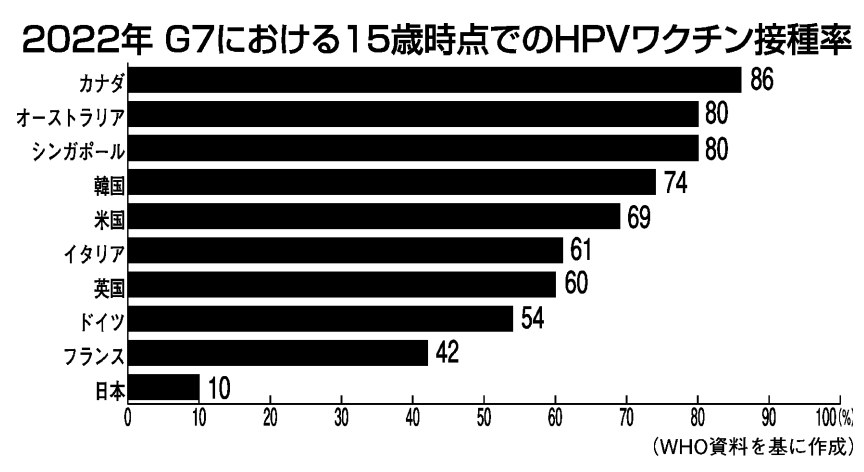
キョーリン製薬グループは創業100周年を迎えました

**キョーリン製薬グループ**  
 杏林製薬株式会社  
 キョーリンリサーチ株式会社  
 キョーリン製薬グループ工場株式会社

**Kyorin**  
<https://www.kyorin-pharm.co.jp/>

# 疾患啓発活動・DXを推進

国・企業・学会・地域... 一体で取り組む



「薬局DX」積極導入  
 データ分析、自動発注

近年、薬局がデジタル変革(DX)を積極化している。DXを活用し、業務効率化や医療費の削減、付加価値の高いサービス提供に取り組む。カウンタ一越しに薬を受け渡す従来のやり方から、場所を選ばずより患者に寄り添うサービスが提供できる薬局へと進化が求められる。

こうしたニーズに対応するため、医薬品卸企業は薬局向けのデジタルツールの提供を開始した。東邦ホールディングス(HD)は、調剤薬局向けの業務管理システム「ミサル」を3月に発売し、医薬品卸企業と薬局間の業務効率化に取り組む。チェーン展開する薬局向けに全店舗の売上げや医薬品の在庫、未収金管理などを一元管理するシステムを展開する。さらに医薬品の需要予測や自動発注といった機能を備える。医薬品管理の業務負担を軽減することで、薬剤師が患者の対応や在宅医療といった対応業務の時間を確保できる点を訴求する。

「ワクチン接種推進」  
 子宮頸がん、予防できる病

製薬企業にとって新薬開発と同様に重要となるのが疾患啓発だ。疾患への理解を呼びかけ、予防や早期の治療の重要性を発信する。感染症においては、国を巻き込んだ制度改革でワクチン接種を拡大するという取り組みも欠かせない。また、医薬品の実用化と同じように重要なのが安定供給だ。医薬品卸企業は、医薬品の適切な管理を支援するデジタルツールを展開し、業務の効率化を図る。

国内では最低となっている。子宮頸がんの罹患率は20代後半から増加する。日本では年間約1万人が子宮頸がんを診断され、約2900人が死亡している。HPVワクチンの接種により感染を防ぐ効果が期待され、世界ではワクチン接種の推奨や対象を男性にも広げるといった取り組みも進んでおり、子宮頸がんの撲滅を目指す動きも出ている。

一方で、世界保健機関(WHO)によると、15歳時点での日本のHPVワクチン接種率は10%にとどまり、先進7カ国(G7)の

**メーカー**

国や企業は子宮頸がんの主な原因とされるヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種率の向上に取り組んでいる。接種機会を逃した対象者が公費で接種できる「キャッチアップ接種」を厚生労働省が実施するほか、自治体やワクチン供給を手がける製薬企業もさらなる接種機会の拡大に向け動きをかけている。ワクチン接種率を上げるためには、国や企業、学会など一体となった取り組みが求められる。

子宮頸がんの罹患率は20代後半から増加する。日本では年間約1万人が子宮頸がんを診断され、約2900人が死亡している。HPVワクチンの接種により感染を防ぐ効果が期待され、世界ではワクチン接種の推奨や対象を男性にも広げるといった取り組みも進んでおり、子宮頸がんの撲滅を目指す動きも出ている。

**卸**

近年、薬局がデジタル変革(DX)を積極化している。DXを活用し、業務効率化や医療費の削減、付加価値の高いサービス提供に取り組む。カウンタ一越しに薬を受け渡す従来のやり方から、場所を選ばずより患者に寄り添うサービスが提供できる薬局へと進化が求められる。

こうしたニーズに対応するため、医薬品卸企業は薬局向けのデジタルツールの提供を開始した。東邦ホールディングス(HD)は、調剤薬局向けの業務管理システム「ミサル」を3月に発売し、医薬品卸企業と薬局間の業務効率化に取り組む。チェーン展開する薬局向けに全店舗の売上げや医薬品の在庫、未収金管理などを一元管理するシステムを展開する。さらに医薬品の需要予測や自動発注といった機能を備える。医薬品管理の業務負担を軽減することで、薬剤師が患者の対応業務の時間を確保できる点を訴求する。

「ワクチン接種推進」  
 子宮頸がん、予防できる病

製薬企業にとって新薬開発と同様に重要となるのが疾患啓発だ。疾患への理解を呼びかけ、予防や早期の治療の重要性を発信する。感染症においては、国を巻き込んだ制度改革でワクチン接種を拡大するという取り組みも欠かせない。また、医薬品の実用化と同じように重要なのが安定供給だ。医薬品卸企業は、医薬品の適切な管理を支援するデジタルツールを展開し、業務の効率化を図る。

国内では最低となっている。子宮頸がんの罹患率は20代後半から増加する。日本では年間約1万人が子宮頸がんを診断され、約2900人が死亡している。HPVワクチンの接種により感染を防ぐ効果が期待され、世界ではワクチン接種の推奨や対象を男性にも広げるといった取り組みも進んでおり、子宮頸がんの撲滅を目指す動きも出ている。

**メーカー**

国や企業は子宮頸がんの主な原因とされるヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種率の向上に取り組んでいる。接種機会を逃した対象者が公費で接種できる「キャッチアップ接種」を厚生労働省が実施するほか、自治体やワクチン供給を手がける製薬企業もさらなる接種機会の拡大に向け動きをかけている。ワクチン接種率を上げるためには、国や企業、学会など一体となった取り組みが求められる。

子宮頸がんの罹患率は20代後半から増加する。日本では年間約1万人が子宮頸がんを診断され、約2900人が死亡している。HPVワクチンの接種により感染を防ぐ効果が期待され、世界ではワクチン接種の推奨や対象を男性にも広げるといった取り組みも進んでおり、子宮頸がんの撲滅を目指す動きも出ている。

**卸**

近年、薬局がデジタル変革(DX)を積極化している。DXを活用し、業務効率化や医療費の削減、付加価値の高いサービス提供に取り組む。カウンタ一越しに薬を受け渡す従来のやり方から、場所を選ばずより患者に寄り添うサービスが提供できる薬局へと進化が求められる。

こうしたニーズに対応するため、医薬品卸企業は薬局向けのデジタルツールの提供を開始した。東邦ホールディングス(HD)は、調剤薬局向けの業務管理システム「ミサル」を3月に発売し、医薬品卸企業と薬局間の業務効率化に取り組む。チェーン展開する薬局向けに全店舗の売上げや医薬品の在庫、未収金管理などを一元管理するシステムを展開する。さらに医薬品の需要予測や自動発注といった機能を備える。医薬品管理の業務負担を軽減することで、薬剤師が患者の対応業務の時間を確保できる点を訴求する。

「薬局DX」積極導入  
 データ分析、自動発注

近年、薬局がデジタル変革(DX)を積極化している。DXを活用し、業務効率化や医療費の削減、付加価値の高いサービス提供に取り組む。カウンタ一越しに薬を受け渡す従来のやり方から、場所を選ばずより患者に寄り添うサービスが提供できる薬局へと進化が求められる。

こうしたニーズに対応するため、医薬品卸企業は薬局向けのデジタルツールの提供を開始した。東邦ホールディングス(HD)は、調剤薬局向けの業務管理システム「ミサル」を3月に発売し、医薬品卸企業と薬局間の業務効率化に取り組む。チェーン展開する薬局向けに全店舗の売上げや医薬品の在庫、未収金管理などを一元管理するシステムを展開する。さらに医薬品の需要予測や自動発注といった機能を備える。医薬品管理の業務負担を軽減することで、薬剤師が患者の対応業務の時間を確保できる点を訴求する。

**メーカー**

国や企業は子宮頸がんの主な原因とされるヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種率の向上に取り組んでいる。接種機会を逃した対象者が公費で接種できる「キャッチアップ接種」を厚生労働省が実施するほか、自治体やワクチン供給を手がける製薬企業もさらなる接種機会の拡大に向け動きをかけている。ワクチン接種率を上げるためには、国や企業、学会など一体となった取り組みが求められる。

子宮頸がんの罹患率は20代後半から増加する。日本では年間約1万人が子宮頸がんを診断され、約2900人が死亡している。HPVワクチンの接種により感染を防ぐ効果が期待され、世界ではワクチン接種の推奨や対象を男性にも広げるといった取り組みも進んでおり、子宮頸がんの撲滅を目指す動きも出ている。

**卸**

近年、薬局がデジタル変革(DX)を積極化している。DXを活用し、業務効率化や医療費の削減、付加価値の高いサービス提供に取り組む。カウンタ一越しに薬を受け渡す従来のやり方から、場所を選ばずより患者に寄り添うサービスが提供できる薬局へと進化が求められる。

こうしたニーズに対応するため、医薬品卸企業は薬局向けのデジタルツールの提供を開始した。東邦ホールディングス(HD)は、調剤薬局向けの業務管理システム「ミサル」を3月に発売し、医薬品卸企業と薬局間の業務効率化に取り組む。チェーン展開する薬局向けに全店舗の売上げや医薬品の在庫、未収金管理などを一元管理するシステムを展開する。さらに医薬品の需要予測や自動発注といった機能を備える。医薬品管理の業務負担を軽減することで、薬剤師が患者の対応業務の時間を確保できる点を訴求する。

「薬局DX」積極導入  
 データ分析、自動発注

近年、薬局がデジタル変革(DX)を積極化している。DXを活用し、業務効率化や医療費の削減、付加価値の高いサービス提供に取り組む。カウンタ一越しに薬を受け渡す従来のやり方から、場所を選ばずより患者に寄り添うサービスが提供できる薬局へと進化が求められる。

こうしたニーズに対応するため、医薬品卸企業は薬局向けのデジタルツールの提供を開始した。東邦ホールディングス(HD)は、調剤薬局向けの業務管理システム「ミサル」を3月に発売し、医薬品卸企業と薬局間の業務効率化に取り組む。チェーン展開する薬局向けに全店舗の売上げや医薬品の在庫、未収金管理などを一元管理するシステムを展開する。さらに医薬品の需要予測や自動発注といった機能を備える。医薬品管理の業務負担を軽減することで、薬剤師が患者の対応業務の時間を確保できる点を訴求する。

**全ては健康を願う人々のために。**

わたしたちは、社会・顧客と共生し、独創的なサービスの提供を通じて新しい価値を共創し、世界の人々の医療と健康に貢献します。



**東邦ホールディングス株式会社**  
<https://www.tohohd.co.jp>

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号  
 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー9階  
 東証プライム市場(証券コード: 8129)

**明日の健康をめざして**

私たちが扶桑薬品工業は1937年の創業以来、輸液や透析液など必須医薬品の開発を中心に地道な努力を重ねてまいりました。これからも生命関連産業に携わる一員としてたゆむことなく真摯にその本分を尽くしてまいります。

**扶桑薬品工業株式会社**  
 www.fuso-pharm.co.jp

本社/大阪市中央区道修町1丁目7番10号 本社事務所/大阪市城東区森之宮2丁目3番11号

**独自のエア技術でクリーンな環境づくりに貢献します**

品質向上のために 靴底を空気でキレイに

**クリーンルームダスター**  
 (エアシャワー) ●PAT製品●

- 3方より同時吹き出し全身に付着したゴミを吹き飛ばします。
- 床面より吸い取る噴射後の空気を足元から吸い取って回収します。

**エア吸着マット**  
 ●PAT製品●

工場や事務所の通路、エアシャワーの中に。

ブラシで掻き出しエアで吸引

- 設置もメンテナンスも簡単
- 安全にも配慮

マット

靴底の汚れは瞬時に集塵ユニットへ回収されます。

**洗浄型バスボックス**  
 「通箱」クリーニング

高速空気噴流でゴミ・異物を吹き飛ばす

特殊ノズル(PAT)で袋物にも対応可能

営業品目 クリーンルームダスター・シューズクリーナー・クリーンエアカーテン・空気清浄機・エア吸着マット

**株式会社 パイオニア 風力機**  
 〒458-0847 名古屋市中区東区津島2-5-5 ☎(052)892-8859☎ FAX(052)892-8833  
 東京営業本部 〒226-0005 横浜市西区十日市場町881-5 ☎(045)982-5005 FAX(045)982-5216  
 九州営業部・九州工場 〒879-0044 大分県津久井郡田代町大野2929-3 ☎(0977)72-9301 FAX(0977)72-9239  
 東北仙台営業所 〒982-0841 仙台市太白区山王三丁目1-10 ☎(022)217-9620 FAX(022)217-9621  
 E-mail/info@paionia.co.jp URL/https://www.paionia.co.jp/